

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(62)番 福山市立 大谷台小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見解決能力	コミュニケーション能力	チャレンジ精神
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	協力して、よりよい解決の方法を考える。	相手の言いたいことを聞き、自分の考えを話す。	目標をもって、あきらめずに取り組む。

2 授業の現状

- ・児童が自分の考えを表現しにくい。
- ・教師が話す時間が多い。

転換

3 めざす授業の姿

- ・児童が、自分の考えを進んで発信し合える授業。
- ・児童の多様な考えを、児童同士や教師が受け入れられる授業。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<p>○「子どもが学ぶ姿」を明確にする。</p> <p>①「子ども主体の授業」にむけた単元作りの研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 85%以上(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>○児童の意見が受け入れられる風土をつくる。</p> <p>①肯定的な姿勢の工夫を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 85%(児童アンケート) 	<p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 96%(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 94%(児童アンケート) <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学ぶ授業のイメージが、職員間で共有できていない。 ・発表後の児童相互の反応が薄い。 	<p>○「児童主体」の授業イメージを共有する。</p> <p>①「子ども主体の授業」にむけた単元作りの研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 85%以上(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>○児童の意見が受け入れられる風土をつくる。</p> <p>①相手に伝わる発表や反応の仕方を、児童に考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 85%以上(児童アンケート) 	<p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 96%(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 93%(児童アンケート) <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ発言や児童相互の意見交流ができにくい。 	<p>○「児童主体」の授業イメージを共有する。</p> <p>①「子ども主体の授業」にむけた単元作りの研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 85%以上(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>○児童の意見が受け入れられる風土をつくる。</p> <p>①人の意見に自分の考えを返したり、児童相互に説明をし合ったりする活動を取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 85%以上(児童アンケート) 	<p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えることが楽しい」と答える児童 96%(児童アンケート) ・単元全体を通して、児童が主体的に学ぶ授業づくりをしようとしている教師 100%(教師アンケート) <p>★指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えが受け入れられている」と感じる児童 93%(児童アンケート) <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に、選択・判断をすることに難しさを抱える児童がいる。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	77.0(11.0)	自分にはよいところがある	100.0
		先生はよいところを認めてくれる	100.0
算数	80.0(12.0)	将来の夢や目標を持っている	100.0
		人の役に立つ人間になりたい	100.0

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい		88.9
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている		77.8
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う		77.8
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている		77.8

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0
不登校	2

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 46/48	○「立ち幅跳び」県平均値かつ全国平均値以上の項目を90%以上にする。 ⇒結果91.7% ○「50m走」県平均値かつ全国平均値以上の項目を100%にする。 ⇒結果83.3% ○新体力テストの総合評価のAB率を95%以上、DE率を0%にする。 (AB-DE)率95%以上 ⇒結果AB率89.5%、DE率1.1% (AB-DE率88.4%)	「50m走」において県平均値かつ全国平均値より低い学年が2学年ある。	・体育授業では、「目標の提示」と「ふりかえり」を定着させ、自己の課題を知り、目標をもって取り組める指導をする。 ・週に1回、月曜日に年間体育として「全校鬼ごっこ」を行う。(走力強化) ・週に1回、金曜日に年間体育としてローテーショントレーニングを行う。(すべての力を強化)
(女子) 46/48			
目標値	○新体力テストの総合評価のAB率を90%以上、DE率を0%にする。(AB-DE)率90%以上 ○「50m走」県平均値かつ全国平均値以上の項目を90%にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%) (3)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	96.1	3.9
自分の考えは、認められている	93.1	6.9